



ゆりぐみだより

2017年 11月 第3号

秋から冬へとバトンタッチをするこの時季。1日の気温差が大きくなり、動物や虫たちも冬眠にむけて準備を始めたようですが、子ども達は寒さに負けず、戸外で鬼ごっこやリレー等体をたくさん動かしながら、元気いっぱい遊んで丈夫な体作りをしています。

ちびっこ博士

園庭の花壇に咲いているアサガオで色水作りをしました。始めは「色水・・・？」と想像がつかなかった子ども達ですが、すぐに図鑑を持ってきて「あっこれか～」「早くやってみたい」と納得しているようでした。花を摘み始めると、「何色になるかな」「白と濃い紫混ぜてみよう」や「ごめんね～」と言って優しく採る姿も見られました。そして、袋の中に水を入れて揉み始めると、「わ～！先生見て！」「白いアサガオ入れたのに混ぜたら紫になった」等、たくさんの声が聞こえました。最後に全員分の色水をペットボトルに入れると、「ぶどうジュースの完成」と拍手が起きました。2日間程部屋に置いておくと、「色変わってるかな」「透明に見える」と言って登園してからすぐ観察が始まりました。

また、保育士が和紙を用意して「実験始めるよ」と声をかけると色水が和紙に染まるか、染まらないか「わくわくするね」「僕は染まると思う」等、興味をもって見ていました。全員で「3・2・1」と言って浸けてみると結果は染まりませんが、「実験楽しかったね」「博士になったみたい」「色水作りまたやりたい」と言って、自然と関わったり、不思議さを感じたりすることができました。



いろいろエピソード



先日の保育参観でも英語教室を楽しんでいた子ども達。生活の中でも数字や給食に出てくる食材名を簡単な単語で言う姿も見られます。ある日、英語クイズをしている声が聞こえました。よく聞いていると「女の子（男の子）は英語で何て言うのでしょうか？」という問題でした。すると「JYOSI (ZYOSI)」「DANSI」と答えていました。「正解～」と声をかける子どももいて、その可愛い姿に思わず笑ってしまいました。大人が使っている言葉も子ども達には英語に聞こえてしまうのですね♪

9月に行ったアクアマリンふくしまでの園外保育。毎回大きな歓声が起きるのはアシカやトドがいる場所。子ども達が真剣に見ていると飼育員の方に「アシカの指は何本あるかな？」と声をかけられました。元気いっぱい泳ぐアシカを必死に目で追いながら「3本」「7本」と答える子ども達。（答えは5本）飼育員さんから「アシカにはおへそもあります、実はみんなの祖先なんだよ」と聞かされました。「祖先」という言葉は少し難しかったですが、昔は同じ生き物だったことに驚いていた子ども達でした。



いつもピカピカ

就学前のこの時期は乳歯から永久歯へと生え変わる大切な時期です。「先生、歯抜けたよ！」と嬉しそうに報告してくれる子もいます。また、11月8日は、ごろ合わせで「いい歯の日」です。いつまでも自分の歯でおいしく食事ができるよう、食べたら歯を磨く習慣を身につけて歯を大切にしましょう★